

日時：2016年 3月 14日 (月曜日) : Kick Off 17:00

場所：Jurong East Stadium

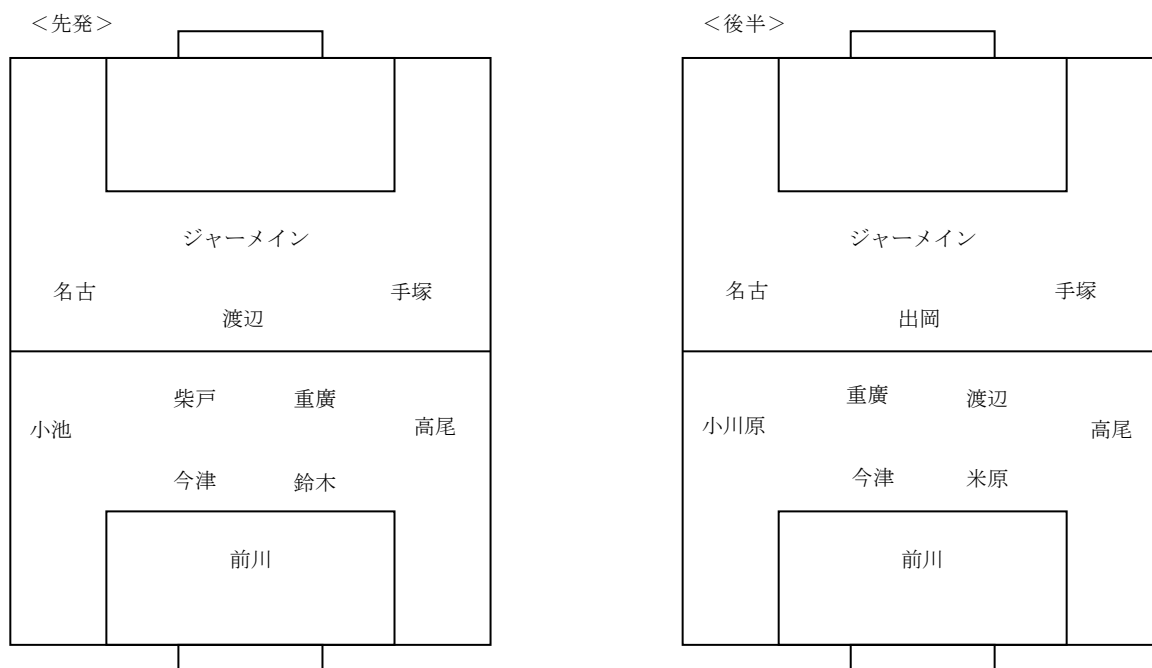
■ 試合結果 ■

全日本大学選抜 3 ( 1-0 ) 0 アルビレックス新潟シンガポール  
2-0

■ 得点 ■

[時間]	[チーム]	[得点者]	[アシスト]
15分	全日本	ジャーメイン	重廣
49分	全日本	重廣	
90分	全日本	松木	溝渕

■ 布陣 ■



■ 交代 ■

HT 小池→小川原、柴戸→出岡	79分 渡辺→米原
62分 前川→小島	81分 ジャーメイン→松本
68分 高尾→溝渕	84分 名古→松木、今津→宮地
70分 手塚→野嶽	

■ 戦評 ■

全日本大学選抜とアルビレックス新潟シンガポールとの試合がJurong East Stadiumで行われた。フォーメーションはアルビレックス新潟シンガポールの1-3-6-1に対して、全日本は1-4-4-2で試合に臨んだ。試合の立ち上がりから、全日本はテンポ良くボールを動かす相手に対して、対応が遅れ、後手にまわる時間が続く。しかし、全日本は徐々にペースを取り戻すと、前半15分に重廣からのパスを受けたジャーメインが豪快にシュートを打ち、先制する。その後は、自陣からビルドアップを試みる相手に対して、積極的にプレッシングをかけ高い位置でボールを奪い、多くのチャンスを作り出す。後半に入っても、全日本は試合の主導権を握りながら試合を進める。そうすると、後半4分、ジャーメインが相手GKにプレッシャーをかけミスを誘うと、重廣がそのままボールを奪い追加点を決める。後半6分過ぎに、スコールにみまわれ試合は一時中断する。約10分の中断をはさんで試合が再開した後も、試合の流れは変わらない。さらに、多くの選手が交代した全日本はより積極的に攻撃を仕掛け、相手ゴールに迫る。後半45分には、松木が溝渕のクロスをダイレクトでシュートし、3点目を奪ったところでタイムアップ。3-0で勝利し試合を終えた。試合の中で、グループとして連動した攻撃が随所にみられたはじめたことは大きな収穫であった。最後に、リーグ期間中にも関わらず協力して頂いたアルビレックス新潟シンガポールのチーム関係者の皆様に改めて謝意を表したい。

(文責：全日本大学選抜コーチ 田村達也)